

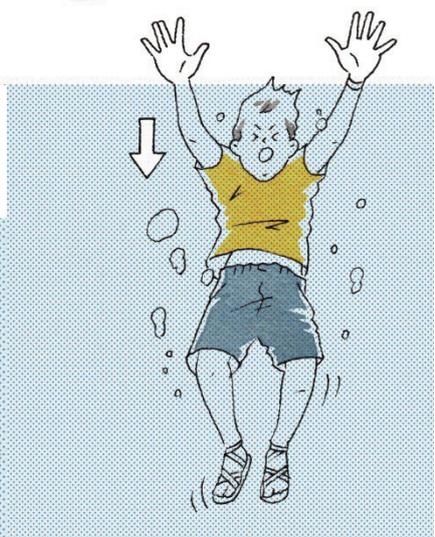
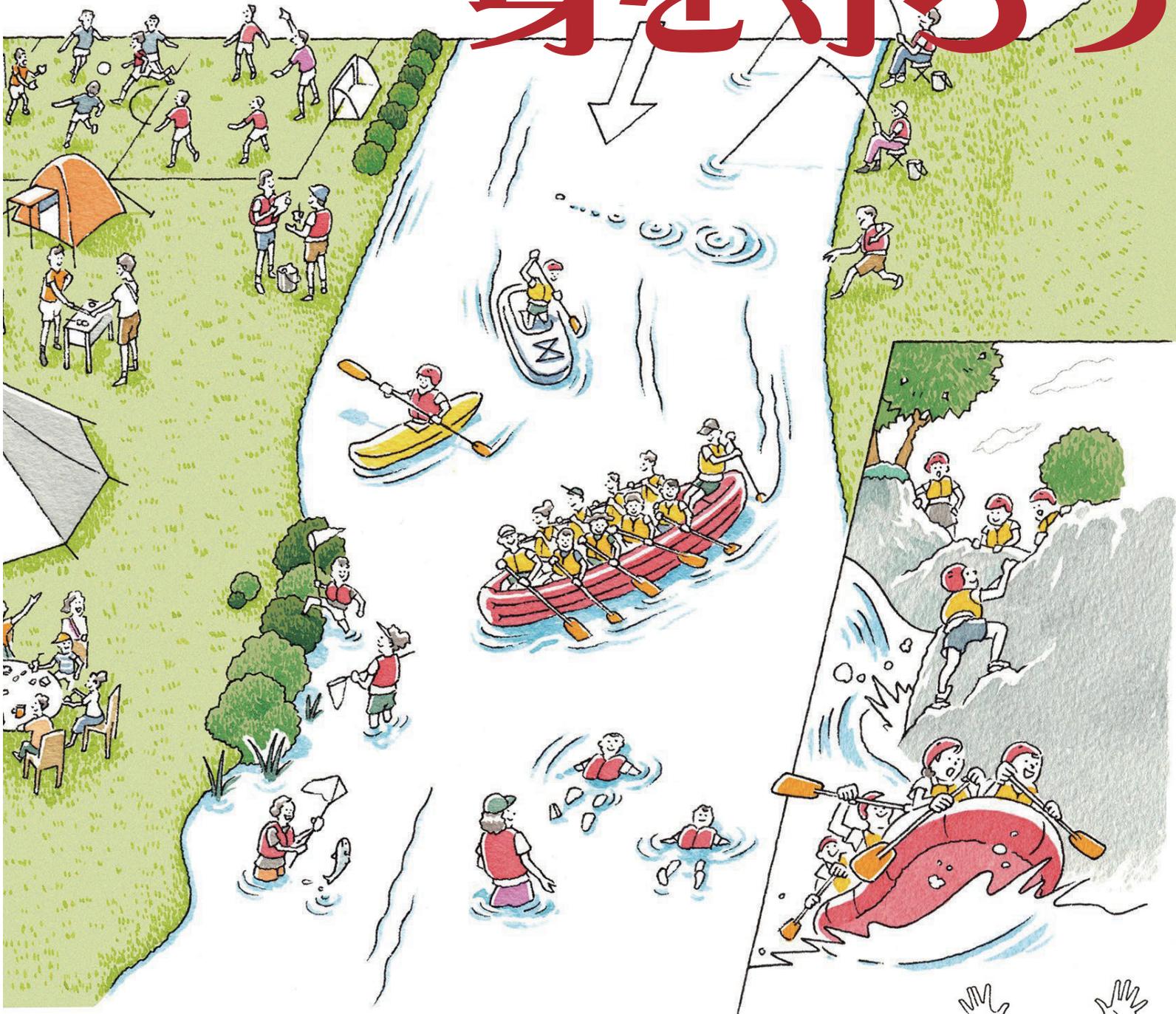
川の危険から

きけん

身を守るう

み

まも



おぼえておこうね川で遊ぶときあそ

①大人といっしょに!



子どもだけで川に行かないで!
かならずお父さん、お母さんや、大人といっしょに行こうね。

②立ち入り禁止や 注意のカンバンをチェック!



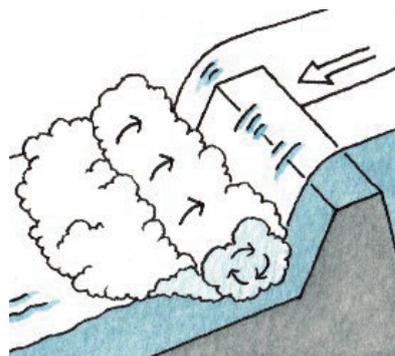
まわりにカンバンがあったらよく読んで、
気をつけることを確認してね。
柵(さく)のある場所や立ち入り禁止の場所は、
あぶないので入らないようにしましょう!

③ライフジャケットをつける! ウォーターシューズをはこう!



かならずライフジャケットをつけようね!
うきわをもっている、ライフジャケットがひつようだよ。
また、かかとか固定されているウォーターシューズをはこうね。

④堰(せき)や落差工(らくさこう)など 段差がある場所には近づかない!



堰(せき)や落差工(らくさこう)など段差がある場所や、
橋脚(きょうきゃく)の近くは、深みができやすいので
近づかないようにしましょう。

⑤流れたウォーターシューズは 取りに行かない!



川にボウシやウォーターシューズが流されたときは、
むりをしてとりに行かないようにしてね。

⑥お天気と急な増水に気をつけて!



雨がふると、川の水が急に増えるからあぶないよ!
スマートフォンなどで、川のリアルタイムな情報や
上流の状況をかくにんしてね。
橋の下での雨やどりはキケンだよ!

川で遊ぶときに気をつけてほしいこと

- 川には、急に流れがはやくなっている場所があるよ。
ゆっくり流れているように見えても、
川底の流れがはやいところもあるから、気をつけてね。
- 川の中には、不安定な浮き石や岩、くぼみ、深みがあり、
足をとられてころんだり流されたりするきけんがあるよ。
- 浅瀬(あさせ)に見える場所でも、急に深くなって川底に足がつかなくなる場所があるよ。
- ぬれている場所やコケがはえている場所は、すべりやすくなっているよ。



もしも川の中で流されてしまったら

①立とうとしない

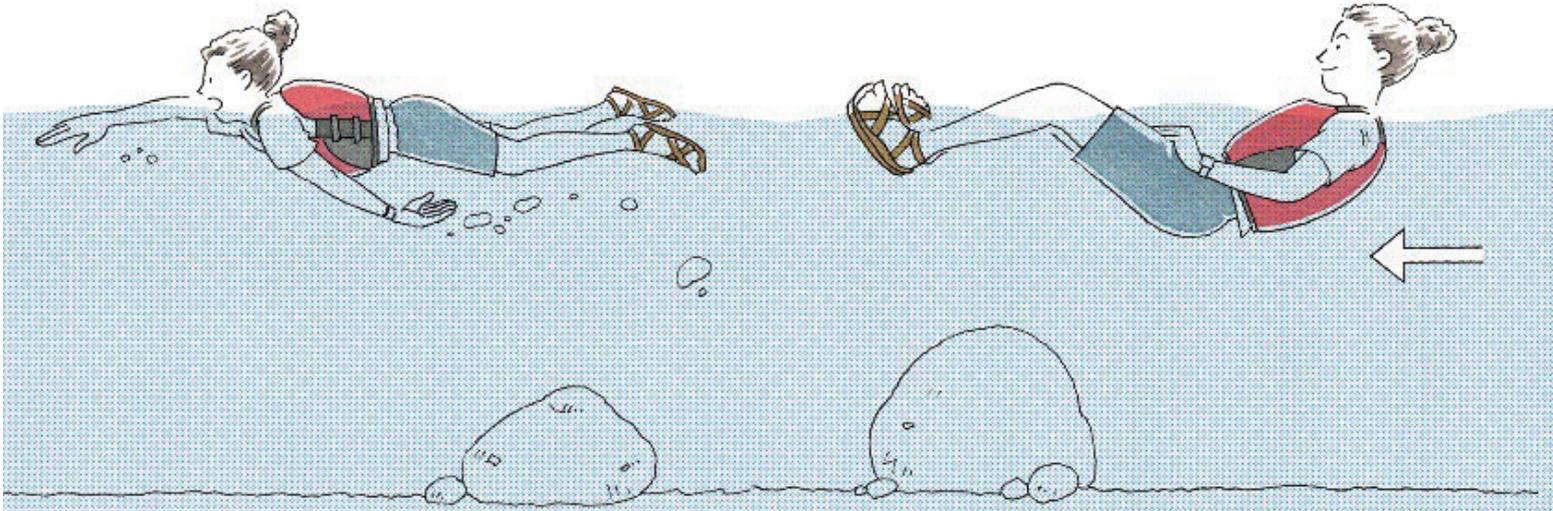
流れのある場所では、
浅くて足がつきそうでも
立たずに浮く、または泳ぐこと。
(足が障害物などに
引っかかってあぶない)

②元いた場所に 戻ろうとしない

自分が流されたときは、
元いた場所におりに
戻ろうとしない。
(戻ろうとすると、流れにさからう
ことになり、あぶない)

③流れのおだやかな場所へ

岸や岩の下流側、
流れのおだやかな場所を見つけ、
「ディフェンシブスイミング」や
「アグレッシブスイミング」で
移動する。



アグレッシブスイミング

流れのおだやかな場所に向かい、
流れの力を利用しながら
クロールや平泳ぎなどで一気に泳ぐ。

水泳のように顔を水につける必要はなく、
できるだけ進行方向を目で見てかくにんするように。

ディフェンシブスイミング

足を下流側に向け、ヒザからつま先を水面まで
持ち上げた背泳ぎの姿勢。
両手でバランスをとり、岩などにぶつからないよう
気をつける。
流れのおだやかな場所を見つけたら、
両うでを使って近づいていく。



きけん 川で危険なところ

川といっても場所によって、深さや流れのようすがちがうし、すべりやすいところもあるので、①から⑧の場所と気をつけたいことを、下のイラストと右ページの説明でしっかりかくにんしておこう。

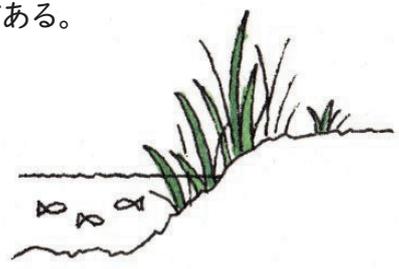


① ダム

上流のダムが放流したら増水するので注意が必要。
上流にダムがあれば事前に放流情報を確認し、活動中は常に放流予告のサイレンに耳をかたむけよう。

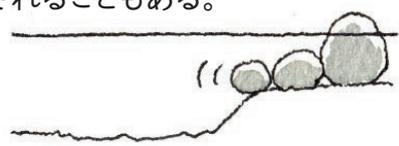
② 水ぎわに生いしげる草

草で見通しが悪い場所では、陸地と水面との境目が分かりにくく、水に落ちたり、すべってころんだりすることがある。



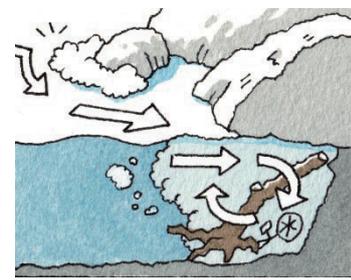
③ 浮き石

うっかり足をのせるとバランスを崩してころんだり、たおれたりして、流されることもある。



④ 流れが大きな岩やガケにぶつかる場所

水中の目には見えない部分がある。水のかたでえぐれていることがある。川底の方に引き込む流れがあるので、まきこまれるとあぶない。



⑤ 反転流 (はんでんりゅう)

反転流とは、水の流れが何かにあたってうずをまき、これまでの流れと反対方向に流れることで、岩や障害物の下流で起こりやすい。本流よりも流れはゆっくりだが、そのうち本流にもどるので注意が必要。

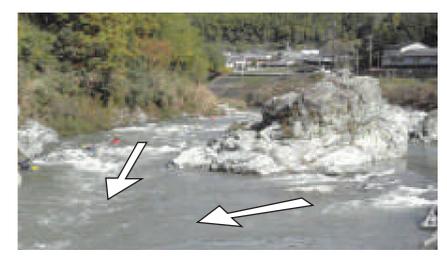
⑥ 根固(ねがため)ブロック

川が曲がっている外側に、堤防などがこわれるのを防ぐため、コンクリートブロックなどがおかれている。この周りや内部では複雑な流れが起こっているため、すきまにはさまれたり吸い込まれたりすると脱出できない。



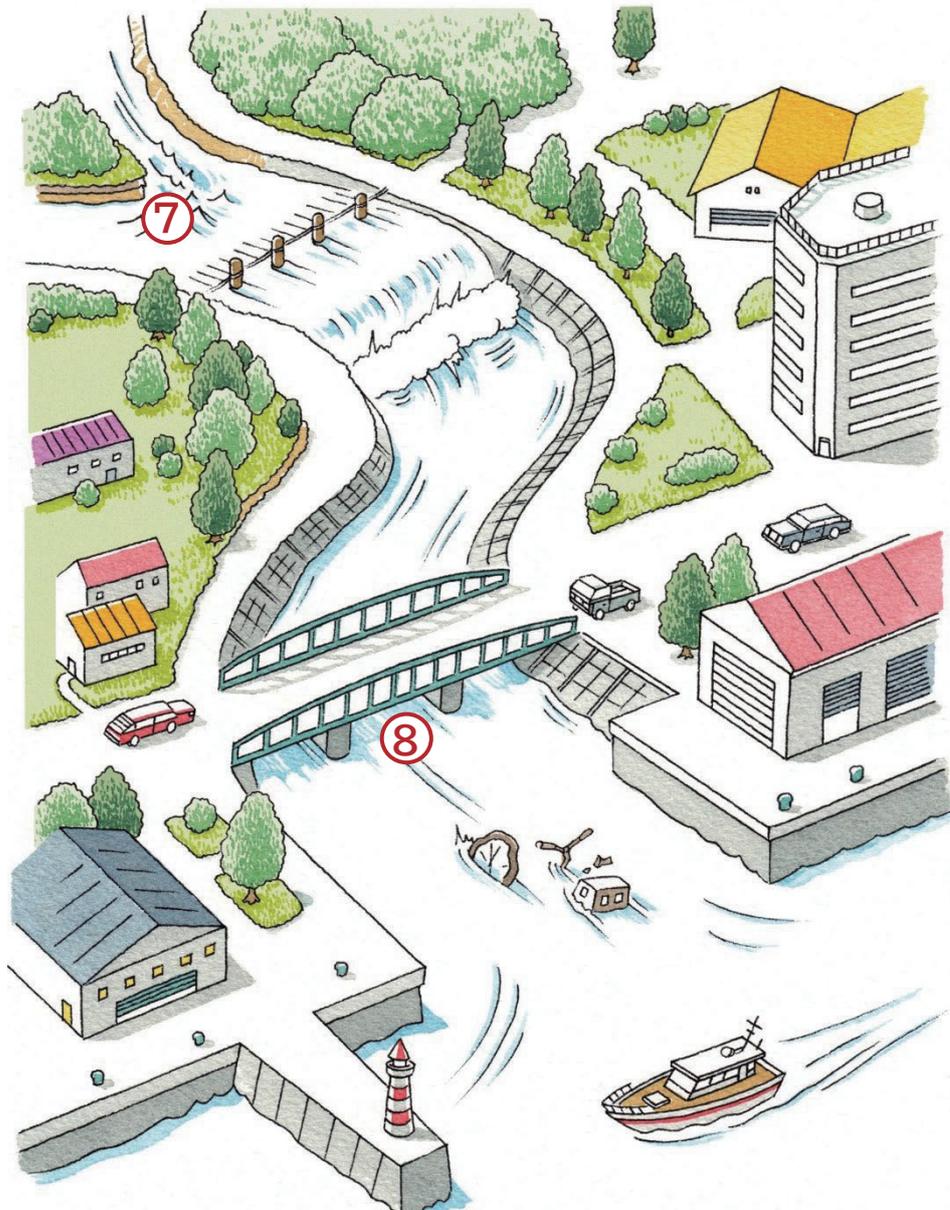
⑦ 支川の合流部 (しせん/ごうりゅうぶ)

2つの流れが合わさり、複雑な波や流れがおこるので注意。



⑧ 橋脚(きょうきゃく)

橋脚の周りは複雑な流れが起こっていたり、流木やゴミなどがはりついてすきまができたことがある。近づかないようにしましょう。



ピクトグラムって なに？



小さな子どもや外国の人でも、何をつたえているのか、すぐに分かるようかんたんなイラストを入れてくふうした、案内用の図記号だよ。川のまわりでよく使われるピクトグラムを、かくにんしてみてね。



**ここには、
入ってはいけません**

高いところから
落下する恐れがあります。

国土交通省



**ここでは、水遊びを
してはいけません**

流れが速いため、
流される恐れがあります。

国土交通省



**河川敷では、ゴミを
燃やしてはいけません**

まわりの草に燃え移り、
火事になる恐れがあります。

国土交通省



**川に落ちないように
気をつけよう**

このあたりの川は、
水深が深くなっています。

国土交通省



**雨が降ったら、
川からあがろう**

上流で雨が降ると急に増水
します。

国土交通省



**足元に
注意して渡ろう**

飛び石の上が
すべることがあります。

国土交通省



**サイレンが鳴ったら
川からあがろう**

サイレンはダムから水を流す合図です。
川の水が増えます。時間がたつてから
水が増えることもあります。

国土交通省



走行には注意しよう

ここは、河川を管理するための
通路のため、狭い箇所がありま
す。

国土交通省



**川に落ちないように
気をつけよう**

このあたりは、すべりやすいの
で注意が必要です。

国土交通省



**雨が降ったら、
川からあがろう**

急な増水で川の中に
取り残される恐れがあります。

国土交通省

きゅうしゅうかわしるべ

こくど こうつう しょう きゅうしゅうちほう せいびきょく

九州川標プロジェクト(国土交通省 九州地方整備局)

わかりやすく、理解しやすい「川の標識(カンバン)」にするため、ピクトグラムをつくったよ。川ごと、地域ごとにバラバラだったカンバンに、同じ色や絵がらを使っているの、どこにいてもすぐにわかるし、川をもっと安全にりようすることができるようになったんだ。

- 禁止は赤色、注意喚起は黄色を使って色でわかる。
- わかりやすい言葉でつたえる。
- 一目でわかるように、統一した図柄を入れる。
- まわりの景観を乱さないように、材料やデザインに配慮する。

さいしん じょうほう
川の最新情報は
スマホでも
かくにんできるよ



スマホ版QRコード

ぼうさい じょうほう こくど こうつうしょう
川の防災情報(国土交通省)

スマホで気軽に、川の情報を見てみよう。

GPS機能で、現在地周辺のじょうきょうもすぐに分かるよ。



画面イメージ



河川カメラ



河川水位



川には、浅いところと深いところがあるよ
流れのようすも、いつも変わるので、気をつけようね

出典/河川財団「水辺の安全ハンドブック」
発行元/宮若市水難事故防止対策協議会
発行日/2024年7月